



パーソルホールディングス株式会社

2023年8月10日（木）16:00-16:45 開催

FY2023 Q1 決算説明会 書き起こし

ハイライト



1

FY2023* Q1決算概要 (IFRS) * FY2023 : 2024年3月期を指す (以下同じ)

- 売上収益3,287億円 (通期予想進捗24.5%)、調整後EBITDA190億円 (同25.2%)と順調に進捗
- 前年同期比では、Q1から中期的成長に向けた戦略投資を実行した結果、売上収益は+9.4%、調整後EBITDAは△16.2% (△36億円、うちCOVID-19関連で△15億円)

2

信用格付は「A+ / 安定的」へ格上げ

- 日本格付研究所 (JCR) による格付は2023年7月に「A / ポジティブ」から「A+ / 安定的」へ格上げ
- IFRSベースでROIC15%以上、ROE20%以上を中期経営計画2026中の目標に設定

3

株式分割の実施

- 2023年9月30日を基準日に1 : 10の比率で株式分割
- 流動性の向上と幅広い投資家の株式保有を期待

4

Debra A. Hazelton氏を取締役として新たに選任

- ダイバーシティを推進、役員女性比率22%
- 女性管理職比率24.4% (2023年4月現在) で前年比1.5pt増、2030年に37%を目指す

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

2

【和田】改めまして和田でございます。本日はお集まりいただきましてまことにありがとうございます。

本日皆さんにお伝えしたい件は次のページのハイライト、4点になっております。1点目が**決算概要**、2点目が**格付の件**、3点目が**株式分割**をさせていただきますので、これに関してご報告いたします。そして、4番目は、我々の**経営体制に新たなメンバー**を加えておりますので、それに関しましてもご報告をいたします。

まず初めに概要です。1Qの決算、売上収益は3,287億円、それから調整後EBITDAも190億円ということで、通期計画通りに進捗しております。進捗率は売上の方では24.5%、そして調整後EBITDAの方で25.2%と、順調に推移しております。対前年の1Qと比較しますと、見劣りするところがございますが、これも計画通りで推移しておりますのでご安心いただければと思っております。

それから2番目の信用格付の件でございます。ここに記載させていただいた通り、A+と格上げをいただきました。それから、IFRSベースのROICの設定、ROEの設定を改めてさせていただきましたので、これに関しましても後ほどご報告いたします。

それから株式分割は10分割をさせていただくということを今日の取締役会で決議いたしました。これは流動性の担保もそうですし、より幅広い投資家の皆様に、株式保有をいただきたい、こんな思いを込めております。

そして経営体制は、こちらに記載していますが後ほどご説明をさせていただきます。

本日の決算概要に関しまして、詳細をこの後徳永よりご報告をいたします。

FY2023 Q1決算概要（連結）



売上収益・売上総利益ともに順調に拡大

(単位：百万円)	FY2022 Q1実績**	FY2023 Q1実績	前年同期比	FY2023 通期予想	進捗率
売上収益	300,467	328,703	+9.4%	1,340,000	24.5%
売上総利益	69,539	75,103	+8.0%	-	-
営業利益	17,436	14,675	△15.8%	54,500	26.9%
営業利益率 (%)	5.8%	4.5%	△1.3pt	4.1%	-
EBITDA	24,921	21,782	△12.6%	-	-
EBITDA Margin (%)	8.3%	6.6%	△1.7pt	-	-
調整後EBITDA	22,678	19,014	△16.2%	75,500	25.2%
調整後EBITDA Margin (%)	7.5%	5.8%	△1.8pt	5.6%	-
四半期利益*	11,139	9,369	△15.9%	33,500	28.0%
調整後四半期利益	12,675	10,513	△17.1%	39,000	27.0%
調整後EPS (円)	54.98	46.21	△15.9%	171.41	27.0%

*親会社の所有者に帰属する四半期利益 **FY2022Q1実績はIFRSベース

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

【徳永】財務担当の徳永です。よろしくお願いたします。

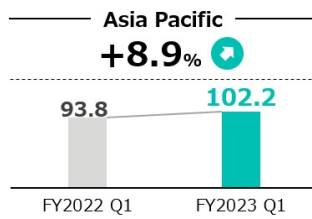
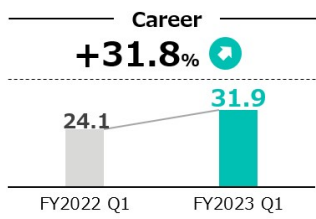
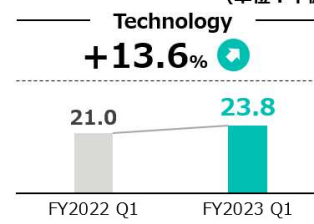
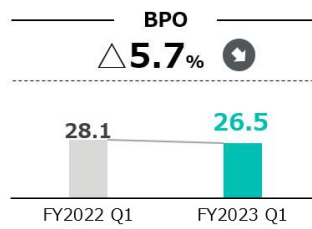
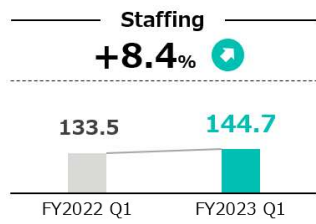
私の方から、1Qの決算概要について説明をいたします。ご案内の通り、当社は今年度からIFRSに移行してございます。また今年度から新中計が始まって、新セグメントで開示しておりますので、この辺りにもふれながら説明をさせていただきたいと考えております。

まず、売上収益、総利益でございますが、前年対比で9.4%増、そして粗利につきましては8.0%増という結果でございました。営業利益と調整後EBITDAにつきましてはマイナス15%、またマイナス16%ですが、先程和田の方から説明のあった通り、年間の通期予想に対しては、売上そして営業利益、調整後EBITDAも順調に進捗をしております。

FY2023 Q1 SBU別売上収益



(単位：十億円)



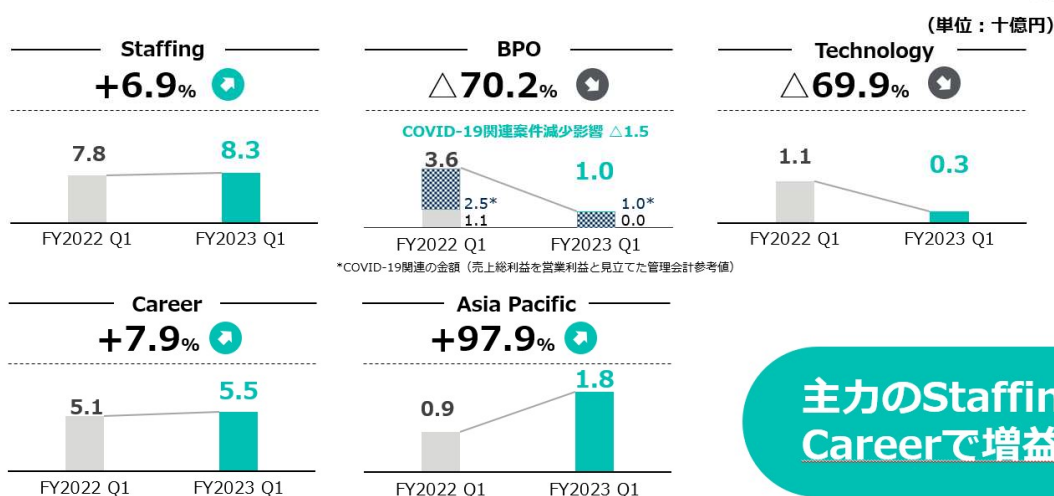
COVID-19関連影響のBPO以外は
大きな売上成長

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

続きまして、各 SBU 別の売上の状況でございます。真ん中にあります BPO SBU ですが、コロナの若干の収束に伴いましてコロナ関係の仕事が減少したことによって、BPO では売上が減少しておりますが、一方で Staffing SBU、あるいは Career SBU を中心としてその他の SBU では、ご覧の通り大きく売上が成長しております。

FY2023 Q1 SBU別営業利益

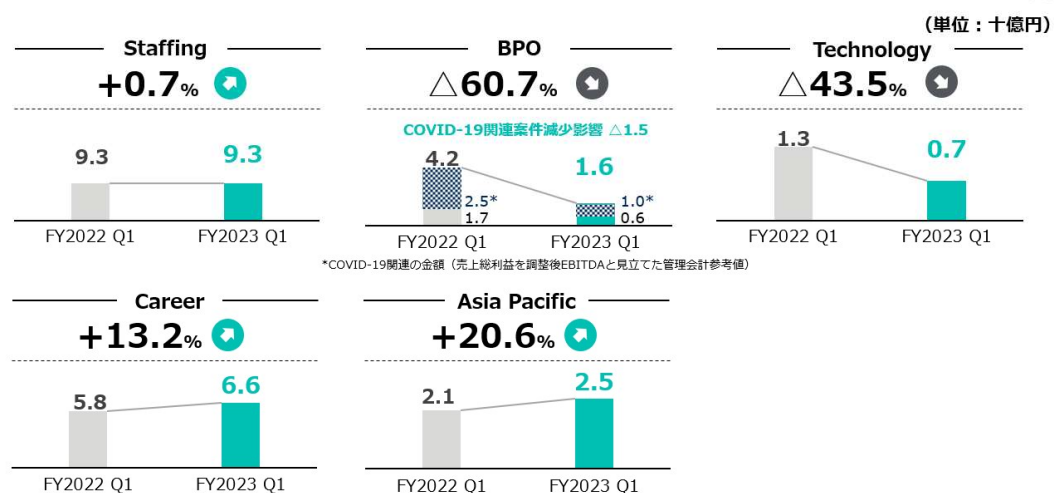


Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

続きまして、SBU別の営業利益でございます。当社の主力であります Staffing SBU、また Career SBU は 6.9%、7.9%の増益となりました。BPO につきましては先程説明した通り、コロナの影響で減益になっております。

FY2023 Q1 SBU別調整後EBITDA



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

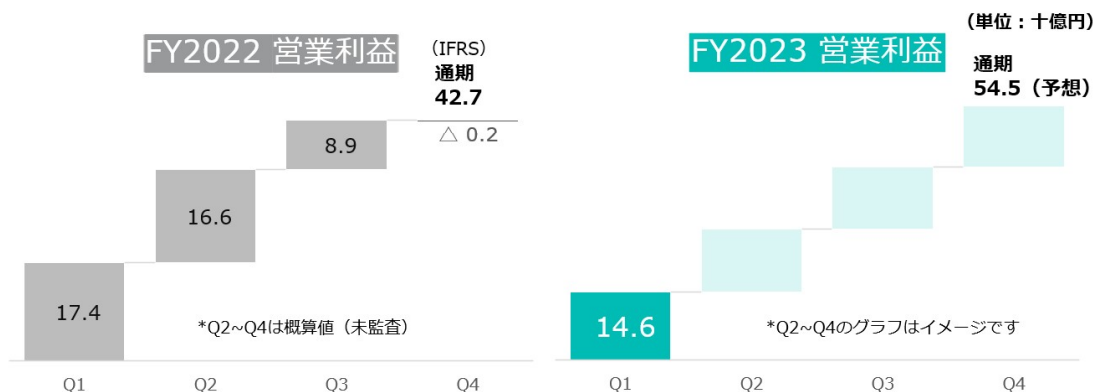
7

続きまして SBU別の EBITDA の状況ですが、こちらの方も営業利益と同じような状況でございます。

営業利益の進捗



FY2022は、下期から戦略投資を実施
 FY2023は、Q1から戦略投資を実施、通期予想の達成に向けて順調な発進



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

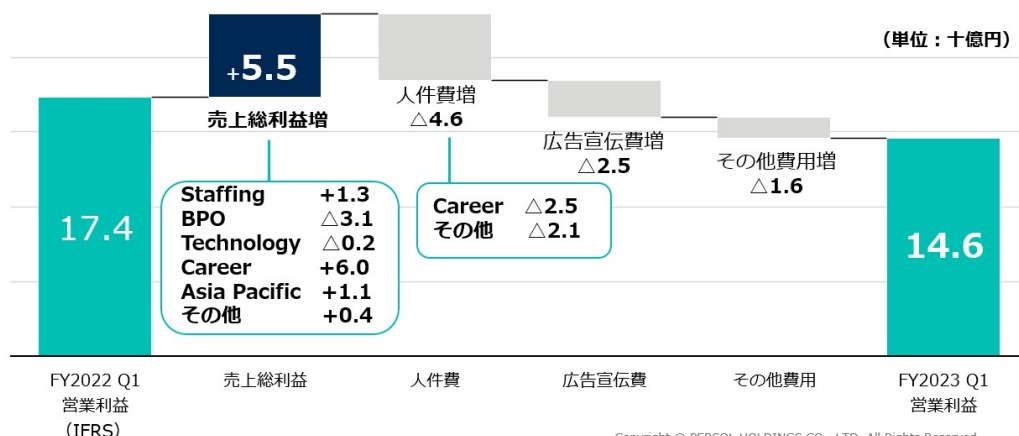
8

冒頭に説明しました通り、今年度は、昨年度と違まして、1Q から戦略投資を実施しております。昨年度はこのグラフの通り、3Q、4Q で戦略投資を使うということをやってまいりましたが、今年度につきましては 1Q から戦略投資を実施して、おおむね四半期同じような利益が出るということを計画してございます。

FY2023 Q1 営業利益の増減分析



売上総利益の成長は堅調、
 人的資本とマーケティングの戦略投資を実施

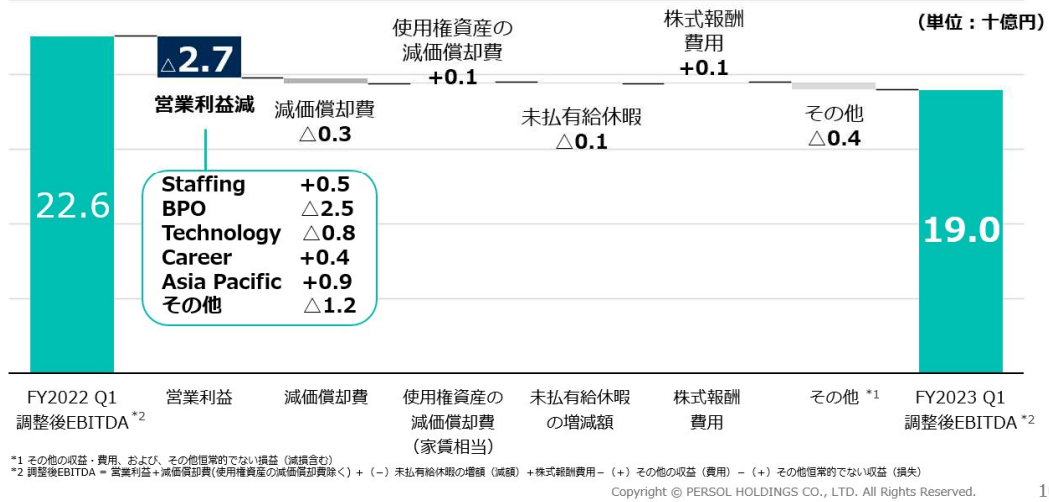


Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

9

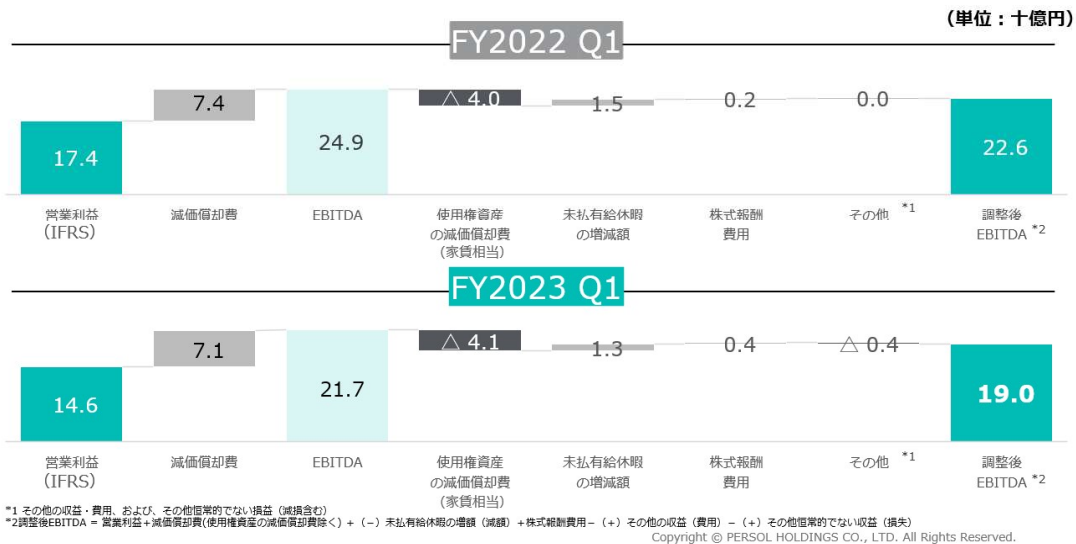
続きまして、営業利益の増減分析でございます。まず、売上総利益、粗利は、前年対比で 55 億円の増となりました。Career については引き続き順調でプラス 60 億円、そして Staffing、Asia Pacific についても好調な状況でございます。一方で、先程説明した通り、Career につきましては 1Q から人的投資、あるいはマーケティング投資をしておりますので、全体として前年対比では減益になってございます。

FY2023 Q1 調整後EBITDAの増減分析



同じく、調整後 EBITDA の前年対比をしていますが、営業利益以外の減価償却費、あるいは有給休暇の積上げにつきましては大きな影響はありませんでした。

営業利益→調整後EBITDAの調整内訳



続きまして、IFRS ベースの営業利益から調整後 EBITDA にどのような調整をしているかについて説明をさせていただきます。上段が昨年度、下段が今年度でございます。まず、IFRS ベースの営業利益に対して減価償却費を足して、そこから真ん中の黒いところに書いております家賃に相当する減価償却費を控除して、未払いの有給休暇を調整、そして株式報酬を調整することで調整後 EBITDA を計算しております。前年度と今年度であまり大きな調整の差異はございませんでした。

(参考) FY2023 Q1 SBU別 売上収益



	(IFRS)		前年同期比	(単位: 百万円)	
	FY2022 Q1実績	FY2023 Q1実績		FY2023 通期予想	進捗率
連結	300,467	328,703	+9.4%	1,340,000	24.5%
Staffing	133,530	144,793	+8.4%	597,000	24.3%
BPO	28,132	26,520	△5.7%	104,000	25.5%
Technology	21,006	23,861	+13.6%	102,000	23.4%
Career	24,198	31,902	+31.8%	137,000	23.3%
Asia Pacific*	93,891	102,269	+8.9%	399,000	25.6%
その他	7,373	8,036	+9.0%	39,000	20.6%
調整	△7,664	△8,679	-	△38,000	-

*為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022 Q1 : 129.7円、FY2023 Q1 : 137.5円 【豪ドル (Programmed)】 FY2022 Q1 : 92.7円、FY2023 Q1 : 91.9円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

12

続きまして SBU 別の売上高の状況でございます。通期の予想に対する進捗率は、各 SBU でおおむね 25%となっております。

(参考) FY2023 Q1 SBU別 営業利益および営業利益率



	(IFRS)		前年同期比	(単位: 百万円)	
	FY2022 Q1実績	FY2023 Q1実績		FY2023 通期予想	進捗率
連結	17,436	14,675	△15.8%	54,500	26.9%
	5.8%	4.5%	△1.3pt	4.1%	-
Staffing	7,843	8,386	+6.9%	26,800	31.3%
	5.9%	5.8%	△0.1pt	4.5%	-
BPO	3,671	1,093	△70.2%	7,200	15.2%
	13.1%	4.1%	△8.9pt	6.9%	-
Technology	1,159	348	△69.9%	5,200	6.7%
	5.5%	1.5%	△4.1pt	5.1%	-
Career	5,179	5,590	+7.9%	21,800	25.6%
	21.4%	17.5%	△3.9pt	15.9%	-
Asia Pacific*	930	1,840	+97.9%	6,800	27.1%
	1.0%	1.8%	+0.8pt	1.7%	-
その他	△736	△646	-	△2,900	-
調整	△611	△1,937	-	△10,400	-

*為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022 Q1 : 129.7円、FY2023 Q1 : 137.5円 【豪ドル (Programmed)】 FY2022 Q1 : 92.7円、FY2023 Q1 : 91.9円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

続きまして、SBU 別の営業利益でございますが、Staffing、そして Career SBU、そして Asia Pacific につきましては 25%を超える進捗をしております。BPO と Technology につきましては、年度の後半に利益が積み上げられるという事業特性がありますので、BPO は 15%、Technology は 6.7%という状況ですが、年間の各 SBU の利益見通しは達成できると予測をしております。調整後 EBITDA につきましても同様な見通しでございますので、省略をさせていただきます。

IFRS導入影響 - B/S



* FY2022 : 2023年3月期、FY2023 : 2024年3月期

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

15

続きまして、今年度から IFRS に変更しましたので、JGAAP、日本基準との比較、そして昨年度の 4Q 末と今年度の 1Q 末の、IFRS ベースのバランスシートの変更点、変化について説明を差し上げます。

FY2022 Q4 財政状態計算書 JGAAP⇔IFRS



日本基準との主な差異はリース / 有給休暇関連によるもの

資産	(単位：十億円)			主な差異
	日本基準	IFRS	差異	
流動資産				■流動資産：主に決算期統一による影響 ■非流動資産 ・使用権資産：リース基準の適用により +22.9 ・のれん：2022.4.1以降ののれん償却を停止 ・繰延税金資産：主に未払有給休暇に対する税効果 ・その他非流動資産：非上場株式の評価益 +6.2
現金及び現金同等物	99.7	101.2	1.4	
営業債権及びその他の債権	160.9	162.8	1.8	
契約資産	25.9	23.5	△ 2.4	
その他	17.5	13.8	△ 3.7	
流動資産合計	304.2	301.4	△ 2.8	
非流動資産				
有形固定資産	9.5	9.2	△ 0.3	
使用権資産	5.2	28.1	22.9	
のれん	52.3	58.4	6.1	
無形資産	33.9	35.2	1.2	
繰延税金資産	13.7	23.4	9.6	
その他	22.9	32.7	9.7	
非流動資産合計	137.8	187.2	49.4	
資産合計	442.1	488.7	46.5	

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

16

まず、3月末の日本基準と、IFRS との比較でございます。大きく変更になったのが、真ん中のところに出ております使用権資産の増加でございます。すなわち、家賃、賃貸相当の増加で、日本基準に対して 229 億円の増となりました。

FY2022 Q4 財政状態計算書 JGAAP⇔IFRS



主に会計基準の変更による未払有給休暇の計上により、自己資本及び自己資本比率が低下

負債及び資本	(単位：十億円)		
	日本基準	IFRS	差異
負債			
社債及び借入金	21.4	21.1	△ 0.2
リース負債	1.9	14.0	12.0
営業債務及びその他の債務	92.5	93.6	1.1
その他の流動負債	79.5	120.6	41.1
流動負債合計	195.4	249.5	54.1
社債及び借入金	30.1	30.1	0.0
リース負債	3.4	12.8	9.3
繰延税金負債	4.0	4.3	0.3
その他	8.4	8.3	△ 0.1
非流動負債合計	46.0	55.6	9.6
負債合計	241.4	305.1	63.7
親会社の持分	185.5	169.6	△ 15.8
非支配持分	15.2	13.8	△ 1.3
純資産	200.7	183.5	△ 17.2
負債及び資本合計	442.1	488.7	46.5

主な差異

■負債

- ・リース負債(流動・非流動)：リース基準の適用による
- ・その他の流動負債：未払有給休暇の計上 +39.6

	日本基準	IFRS
自己資本比率	42.0%	34.7%

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

17

一方で負債でございますが、先程の使用権資産の増にともない、負債側において、リース負債、流動、そして非流動と、負債が増えております。また、未払いの有給休暇の計上ということで、396億円をIFRSベースで計上しております。以上が日本基準とIFRSの大きな差でございます。

FY2023 Q1 連結財政状態計算書



強固な財務基盤を保ち、JCRによる格付は「A/ポジティブ」から「A+/安定的」に格上げ

	(IFRS)				(IFRS)		
	FY2022 Q4末	FY2023 Q1末	増減額		FY2022 Q4末	FY2023 Q1末	増減額
流動資産	301,445	302,713	+1,267	流動負債	249,552	258,774	+9,222
(主な内訳)				(主な内訳)			
現金及び現金同等物	101,233	88,854	△12,378	営業債務等*2	93,688	97,552	+3,864
営業債権等*1	162,853	172,968	+10,115	社債・借入金	21,174	39,985	+18,810
非流動資産	187,283	192,429	+5,146	非流動負債	55,647	46,608	△9,038
(主な内訳)				(主な内訳)			
のれん	58,465	60,088	+1,623	社債・借入金	30,117	20,001	△10,116
無形資産	35,250	36,814	+1,563	負債合計	305,199	305,383	+183
使用権資産	28,168	28,032	△135	資本	183,529	189,759	+6,230
資産合計	488,728	495,142	+6,413	負債・資本合計	488,728	495,142	+6,413

*1 営業債権及びその他の債権

*2 営業債務及びその他の債務

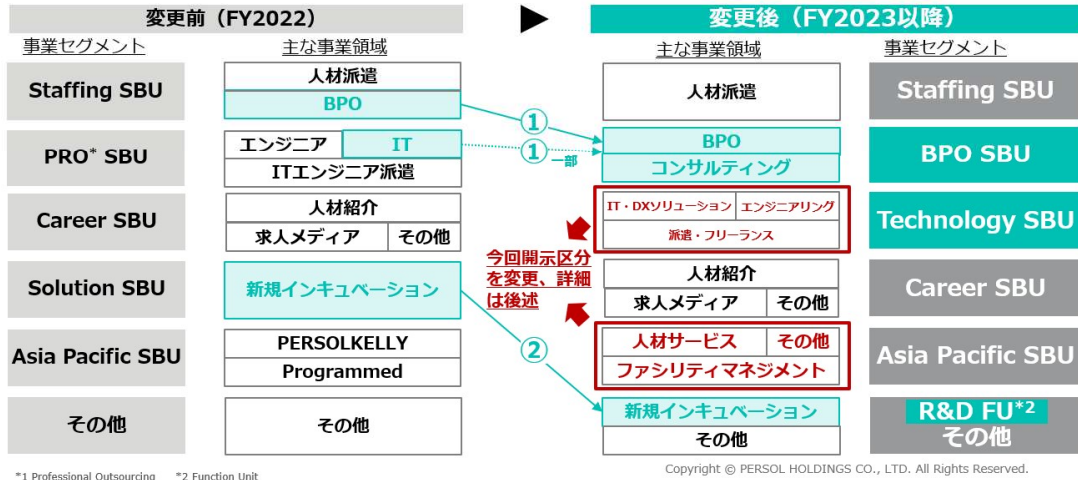
Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

18

続きまして、3月末のIFRSベースのバランスシートと、6月末のIFRSベースのバランスシートの比較でございます。まず、流動資産につきましては12億の増、非流動資産につきましては51億の増となりました。また、負債側を見ていただくと、来年度返済する予定の借入金が非流動から流動に変わっておりますが、負債トータルとして大きな変更はございませんでした。

セグメントの変更（KPIの開示を充実）

- 中期経営計画2026の事業戦略に基づき、2023/4/1よりSBU体制を変更
- ①Staffing SBU及びPRO^{*1} SBUからBPO事業を切り出し新SBUとして設置、②Solution SBUをR&D FU^{*2}に変更
- PRO^{*1} SBUをTechnology SBUに改称



続きまして、SBU 別の足元の営業状況、決算概要について説明をいたします。

まず、冒頭にご説明しました通り、今年度から新中計に伴ってセグメントを変更しております。一番右を見ていただきたいのですが、2つ目のセグメント、BPO SBU を新しく追加してございます。こちらのSBU は Staffing SBU、PRO SBU から BPO 事業を切り出して新しく新設いたしました。また、以前の PRO SBU が Technology SBU に名称を変更しました。Technology SBU と Asia Pacific SBU につきましては、従来の会社別のサブセグメントの開示から、事業別の開示に変更してございます。こちらにつきましても後ほど説明をいたします。また、今回のセグメント変更に伴いまして、KPI の開示を充実させております。

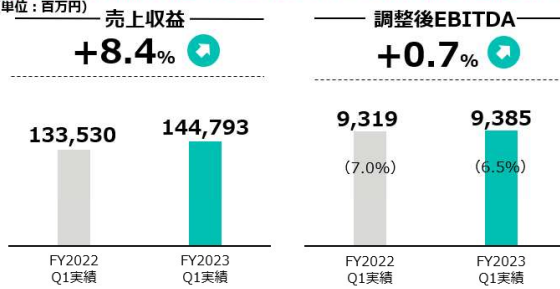
SBU別Q1決算概要 -Staffing SBU-



増収増益。売上収益は前年同期比 +8.4%の増収。

調整後EBITDAは、粗利増もCOVID-19関連案件の減少に加えて、社会保険料率変更に伴う原価負担増の結果、微増益に留まる

(単位:百万円)



売上収益 +8.4%

就業者数	+6.4%
平均請求単価	+2.5%
就業日数	+1.5%
就業時間*	△0.1%
その他増減	△1.9%
営業日数 前年同期比	△1
受託売上 前年同期比	△0.5%

就業者数 : 毎月1営業日時点の長期派遣就業者数 ※長期=3ヶ月以上契約
 平均請求単価 : 対象期間における派遣契約の請求単価 (長期・短期・単発)
 就業日数 : (Staffing SBU共通) 平日平日数から計画有給日数を除いた日数
 就業時間* : パーソルテンプスタッフ株式会社における 1営業日における派遣契約 (長期・短期・単発) の平均実働時間 (時間内・時間外の合算)

*カッコ内の%は調整後EBITDAマージン

四半期 (2023年4~6月) コメント

SBU	市場	KPI																																																		
従来のStaffing BPO領域をBPO SBUに移管	<ul style="list-style-type: none"> 受注数: 前年同期比 △5.1% 確定数: 前年同期比 △2.8% 終了数: 前年同期比 △3.6% 	就業者数 前年同期比 +7.0% <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>単位</th> <th colspan="4">FY2022</th> <th colspan="4">FY2023</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>Q1</th> <th>Q2</th> <th>Q3</th> <th>Q4</th> <th>Q1</th> <th>Q2</th> <th>Q3</th> <th>Q4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業者数</td> <td>千人</td> <td>113</td> <td>116</td> <td>119</td> <td>121</td> <td>121</td> <td>2,262</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均請求単価</td> <td>円</td> <td>2,201</td> <td>2,202</td> <td>2,204</td> <td>2,215</td> <td>2,262</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>就業日数</td> <td>日</td> <td>61</td> <td>59</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>62</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	単位	FY2022				FY2023						Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	就業者数	千人	113	116	119	121	121	2,262			平均請求単価	円	2,201	2,202	2,204	2,215	2,262				就業日数	日	61	59	60	60	62			
項目	単位	FY2022				FY2023																																														
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4																																											
就業者数	千人	113	116	119	121	121	2,262																																													
平均請求単価	円	2,201	2,202	2,204	2,215	2,262																																														
就業日数	日	61	59	60	60	62																																														

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

21

まず1つ目のSBUでありますStaffing SBUでございます。Staffing SBUにつきましては、売上高は8.4%の増で、堅調な状況でございました。一方で、調整後EBITDAにつきましては、昨年の10月から社会保険料の制度が変更になりコストがアップしたということもあり、0.7%の増になっております。右の上の方に売上収益を分解しております、就業者数は6%増、そして請求単価は2.5%増となりました。また、細かなKPIを表の右下、あるいはこの資料の後半に添付でつけておりますので、ぜひご覧いただけたらと思います。

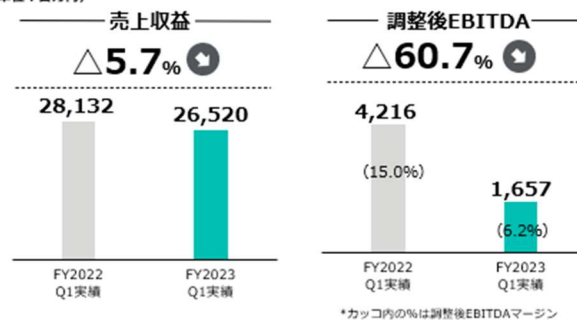
SBU別Q1決算概要 -BPO SBU-



需要は堅調も、COVID-19関連案件の減収により前年同期比△5.7%の着地

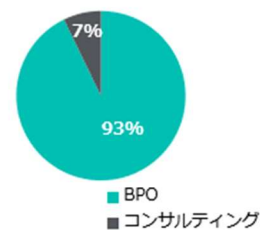
調整後EBITDAは、上記の要因に加えて新規案件対応等に伴う一時的な原価負担増により減益

(単位:百万円)



*カッコ内の%は調整後EBITDAマージン

売上構成比 FY2023 Q1



四半期 (2023年4~6月) コメント

COVID-19関連案件影響 売上収益 前年同期比 約 △47億円 売上総利益 前年同期比 約 △15億円	需要は堅調 新規案件対応等に伴う一時的な原価負担増 売上高人件費比率* 前年同期比 9.6pt増加	通期業績予想はオントラック 以降の稼働増を見込む
COVID-19関連案件を除いた場合 売上収益 前年同期比 +15.3%	* 人件費 (売上原価、経管費)	

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

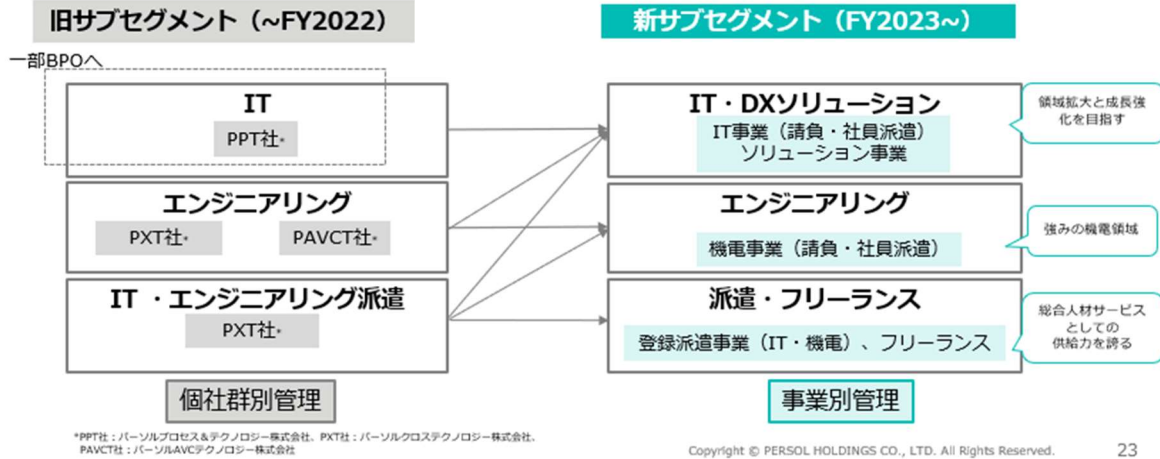
22

続きまして、BPO SBU でございます。こちらの方はコロナの影響を受けまして、売上高は5.7%減、調整後EBITDAは60%の減となりました。ただ、コロナ関連事業を除く事業につきましては15%増ということで、好調な状況が続いております。

Technology SBUの開示区分変更について



新Technology SBU体制への変更と中期経営計画2026における経営戦略実行のため、これまでの**個社群別**の開示区分から、**事業別**の新開示区分へ変更

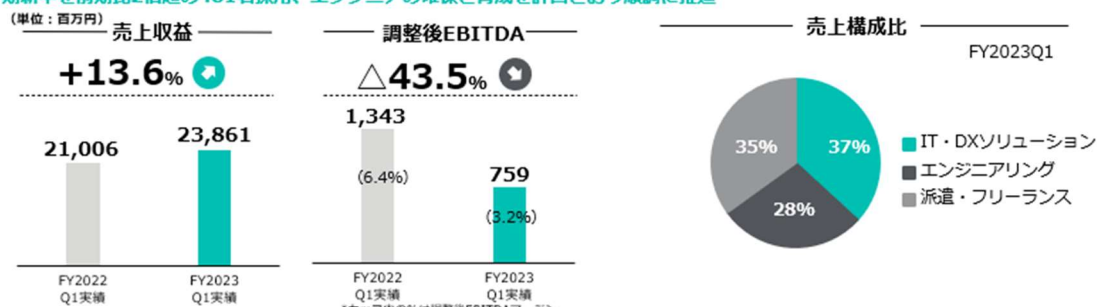


続きまして、Technology SBU でございます。冒頭に説明しました通り、会社別のサブセグメントから事業別のサブセグメントに変更しております。まず、最初のサブセグメントが IT 事業、2 目目のサブセグメントが機械・電気事業でございます。これは主に、自動車や家電のソフトウェアなどの請負の事業です。そして 3 目目がエンジニアの派遣の事業で、3 つのサブセグメントに変更いたしました。

SBU別Q1決算概要 -Technology SBU-



売上高は前年同期比13.6%増と堅調も、新卒・中途エンジニアの採用強化による人件費増加で調整後EBITDAは同43.5%減
 今期新卒を前期比2倍超の481名採用、エンジニアの確保と育成を計画どおり順調に推進



四半期（2023年4～6月）コメント

- | | |
|--|--|
| <p>IT・DXソリューション</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 旺盛なDX需要を背景に堅調 ■ エンジニア数 2,880人月（前年同期比+11.7%） ■稼働率：86.2% ■ 平均売上単価/月（BP含む） 1,062千円 <p>派遣・フリーランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ IT領域、エンジニアリング領域共に堅調 ■ 派遣エンジニア数(就業人数)：4,850人月（前年同期比+7.4%） ■ 派遣請求単価 3,850円 | <p>エンジニアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 需要が引き続き堅調 ■ エンジニア数 3,210人月（前年同期比+4.5%） ■稼働率：89.9% ■ 平均売上単価/月（BP含む） 747千円 <p>エンジニアの採用状況（SBU全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 4月の新卒エンジニア採用数は481名(前年同期比+104.7%、昨年度235名) ■ 計画どおりに新卒・中途エンジニアを確保 |
|--|--|

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

24

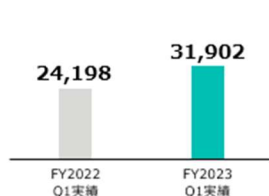
足元の状況でございますが、Technology SBU 全体としては 13.6%の増収ということで引き続き好調な状況が続いております。一方で、この 1Q に 480 人の新卒、これは昨年度の倍以上の新卒を採用して、それが原価に入っているということで、調整後 EBITDA につきましてはマイナス 43.5%となりました。この新卒の社員につきましては、2Q 以降売上に寄与すると見ておりますので、年間を通した目標については達成できると考えております。また、サブセグメントの各売上の構成状況については、右の方のパイチャートを見ていただきたいのですが、だいたい 3 分の 1 ずつの売上の構成状況となっております。

SBU別Q1決算概要 -Career SBU-

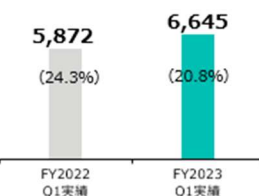


(単位：百万円)

売上収益
+31.8%

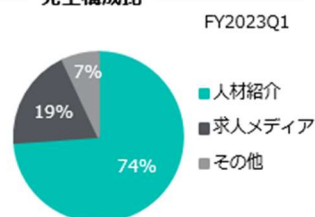


調整後EBITDA
+13.2%



*カッコ内の%は調整後EBITDAマージン

売上構成比



四半期 (2023年4~6月) コメント

投資の状況

- マーケティング投資 (広告宣伝費) は、原価でYoY約1.5倍、販管費でYoY約2倍を投じ、dodaのユーザー新規登録数はYoY+12%
- 人員投資 (人件費) は、YoY約1.3倍を投じ、CA等のHeadcount*は右記のとおり伸長

人材紹介

- YoY約35%の増収
- CA等のHeadcount (HC) *は、当Q1平均2,104名 (YoY+25%)
- 生産性 (売上収益÷HC) は、当Q1平均3,190千円 (YoY+5%)

求人メディア

- YoY約25%の増収

*Career Advisors、Recruiting Advisors、Project Agents等の総数

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

25

次に、Career SBU でございます。Career SBU のところは、昨年から非常に好調な状況が続いておりまして、売上高につきましては31%増となりました。1Q からマーケティングを中心とした戦略投資をしている関係で、調整後 EBITDA は13%の増となっております。また、マーケティング投資の効果として、昨年の同期と比べ doda ブランドの新規登録数が12%増えております。また、キャリアアドバイザーを中心とした要員の増も図っておりまして、昨年対比で約400名増、25%増の2,100名まで増員をしております。結果として、31%の売上増を達成しております。

Asia Pacific SBUの中計2026数値目標



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

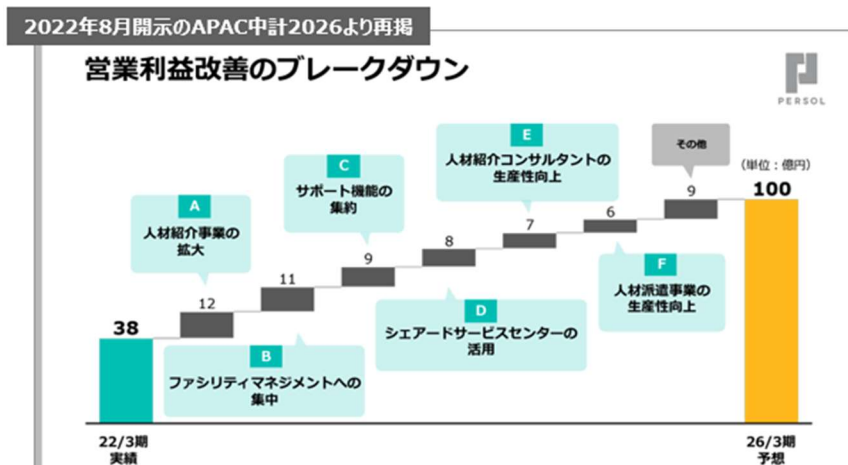
26

続きまして Asia Pacific SBU でございます。Asia Pacific SBU につきましては、昨年の 8 月に新中計を先行して発表しております。ROIC が 10%、営業利益が 100 億円、そして EBITDA が 150 億円という目標でございました。今回、グループ全体として調整後 EBITDA という定義に変更させていただきましたので、Asia Pacific につきましても 150 億から 125 億に変更しておりますが、この差分の 25 億につきましては家賃に相当する償却費ですので、実質的な目標にはまったく変更はございません。

Asia Pacific SBUの中計2026進捗



下記重点施策A~Fの進捗は全て順調



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

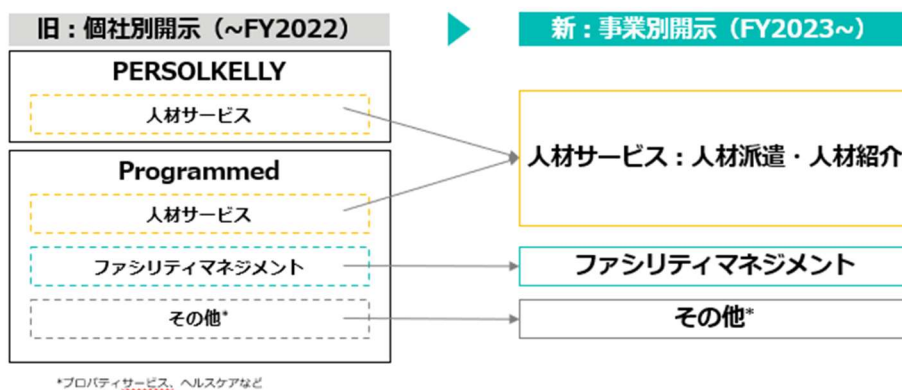
27

昨年度 8 月に発表しました Asia Pacific の営業利益の改善の A から F までの進捗状況は、すべて順調に進捗をしてございます。

Asia Pacific SBUの開示区分変更



中計2026の戦略に従い、以下のとおり、これまでの個社別開示から**事業別開示**へ変更

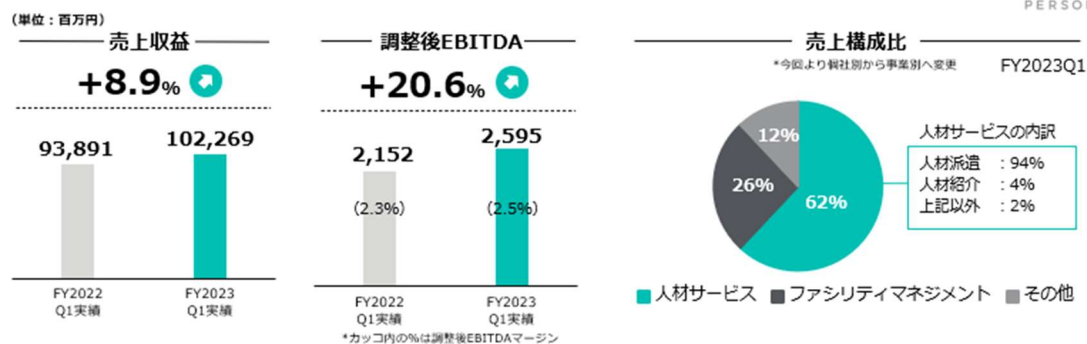


Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

28

Asia Pacific につきましても、従来の PERSOLKELLY、そして Programmed という会社別のサブセグメントの開示から、今回から人材サービス、2つ目がファシリティマネジメント、その他という、3つの事業セグメントに変更させていただきます。

SBU別Q1決算概要 -Asia Pacific SBU-



四半期 (2023年4～6月) コメント

- | | |
|--|---|
| <p>人材サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 人材派遣、人材紹介ともに堅調に成長 人材紹介のHC (コンサルタレント数) は当Q1平均1,162名 | <p>ファシリティマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> 中計2026の戦略実行により、資本効率及び収益性の高い当事業は順調に伸長 |
|--|---|

注1. これまで3か月ずれた連結財務諸表への取込情報が、IFRS移行を機に今回Q1より同タイミング (2023年4月～6月の実績) に変更
 注2. 為替レート【米ドル (PERSOLKELLY)】FY2022 Q1: 129.7円、FY2023 Q1: 137.5円【豪ドル (Programmed)】FY2022 Q1: 92.7円、FY2023 Q1: 91.9円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

29

1Qの実績でございますが、売上の方は8.9%増、そして調整後EBITDAも20%増ということで、堅調な状況でございます。また、昨年度と今年度で為替の影響はほとんどありませんでした。3つのサブセグメントの売上内訳につきましては、右の方のパイチャートをご覧くださいと思います。

(参考) Asia Pacific SBU業績内訳 (PERSOLKELLY、Programmed)



(単位：百万円)

	FY2022 Q1	FY2023 Q1	前年同期比
売上収益	93,891	102,269	+8.9%
PERSOLKELLY	23,112	25,725	+11.3%
Programmed	70,777	76,084	+7.5%
営業利益	930	1,840	+97.9%
PERSOLKELLY	603	678	+12.5%
Programmed	458	1,623	+254.5%
調整後EBITDA	2,152	2,595	+20.6%

注1. 当SBUは、「PERSOLKELLY」「Programmed」の他に、事業を営業する本部機能等で構成されております。上記内訳において、当該本部機能等の実績は省略しており、合計は一致しません。
 2. 為替レート 【米ドル (PERSOLKELLY)】 FY2022 Q1: 129.7円、FY2023 Q1: 137.5円 【豪ドル (Programmed)】 FY2022 Q1: 92.7円、FY2023 Q1: 91.9円

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

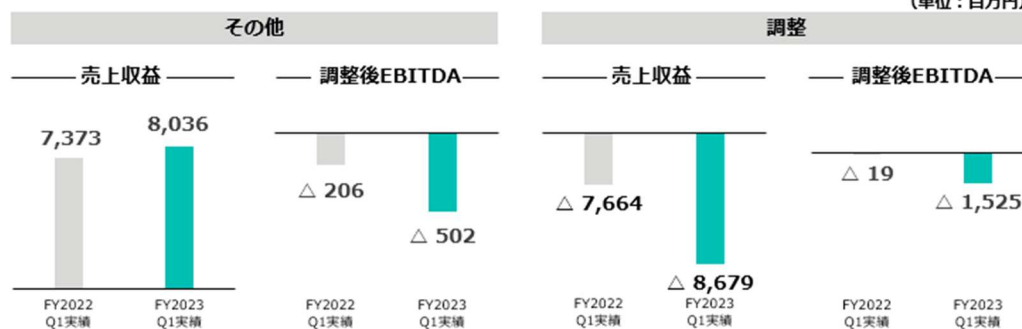
30

PERSOLKELLYとProgrammedの各会社別の売上高、そして営業利益につきましても、参考で掲示しておりますのでぜひご覧になっていただきたいと思います。

SBU別決算概要 - その他・調整 -



(単位：百万円)



四半期 (2023年4~6月) コメント

- 売上高は、R&D、FU*両事業共に増収。R&D事業は主にMIIDAS事業が増収。FU事業は主に特例子会社における障害者雇用事業のグループ内取引の増加によるもの
- 損益面は、上記増収効果により粗利率は上がるも、R&D事業における人件費、広告宣伝費を主とした費用増加により赤字幅拡大

四半期 (2023年4~6月) コメント

- 主にコーポレート施策等の人件費や業務委託費の増加によるもの

注. その他および調整の内容につきましては、決算短信のセグメント情報等に関する注記をご参照ください。
 * FU : Function Unit の略

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

31

最後に、SBU 以外のその他、そして調整の科目でございます。その他につきましては微増の 80 億円、調整後 EBITDA はマイナス 5 億円となりました。連結調整につきましては、調整後 EBITDA でマイナス 15 億ですが、これはホールディングの機能強化、あるいは各 SBU とホールディングとの間の経営管理料を変えたことが原因ですので、大きなコストアップということではございません。以上、各 SBU と全体についてご説明を差し上げました。

信用格付の推移



日本格付研究所（JCR）による最新の信用格付は「A+/安定的」に格上げとなった

長期発行体格付 A → **A+**
格付けの見通し ポジティブ → **安定的**



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

33

【和田】それでは続きまして、信用格付と ROIC、ROE につきまして私のほうからご説明をいたします。

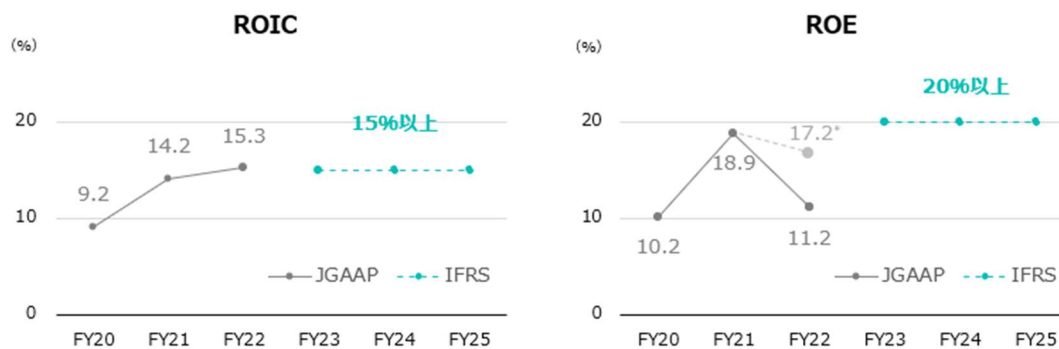
ハイライトの中でもお伝えしました通り、この 7 月に格付を A から A+に格上げしていただきました。格付の見通しもポジティブから安定的となっておりますが、7 月の JCR 様の信用格付がこのようになりましたので、ご報告をいたします。

中計2026における資本効率性の基準（ROIC、ROE）



資本効率重視の経営を継続し、中計2026におけるIFRSベースでの目標はROIC**15%**以上、ROE**20%**以上とする

※日本基準ベースではROIC15%、ROE18%以上（2023年5月開示）。FY2023より算定式を変更、詳細はP.64参照



* 2023年4月11日に発表した減損損失の影響を除外した場合のROE

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

34

続きまして、我々の資本の効率性の基準につきまして、IFRS を導入することに伴いまして、一点修正をしております。ROIC につきましては以前提示しております通り 15%でございますが、これにつきまして、64 ページを見ていただければと思いますが、計算方法が若干変わっておりますので、そこをご覧いただければと思っております。それから ROE につきましては 18%から 20%に修正をいたします。これは 2026 年にこれを 1 つの最低基準として、経営をしていきたいと考えておりますし、もちろん、これを上回るような形の取り組みをさせていただきたいと考えております。

株式分割

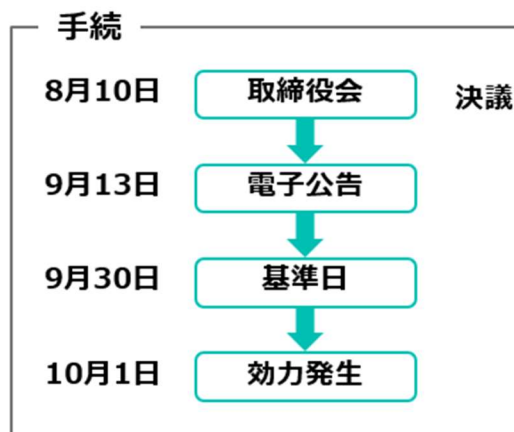


目的：株式の投資単位あたりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めるとともに
より幅広い層の投資家の皆さまに保有いただくこと

分割比率：1:10

基準日：2023年9月30日

決議事項：1. 株式分割
① 分割比率、基準日
② 効力発生日
2. 定款変更



Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

36

続きまして株式分割でございます。10分割、1対10の割合で分割をしたいと考えております。基準日は9月の30日でございます。本日の取締役会で決議をいたしましたので、こちらにお示している通りの形で手続きを進めてまいりたいと考えております。

株式分割に伴う配当予想の修正



- 今回の株式分割に伴い、2023年5月15日に公表したFY2023の期末配当予想額を以下の通りに修正
- 本修正は、分割比率に合わせて実施するものであり、実質的な変更はない
- 2023年10月1日を効力発生日とする為、同年9月30日を基準日とする中間配当支払は株式分割前の株式数を基準に実施

	1株当たり配当金		
	中間	期末	年間
前回予想 (2023年5月15日公表)	43円00銭	43円00銭	86円00銭
今回修正予想 (株式分割前換算)	43円00銭	4円30銭 (43円00銭)	- (86円00銭)
参考：FY2022実績	21円00銭	40円00銭	61円00銭

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

37

それから配当でございます。これは分割前と基本的に変わりませんが、10分割している分がございますので、期末の配当は1株あたり4円30銭という形になりますが、もともとの基準と変えておりませんので、ご安心ください。

ダイバーシティの推進



外国人女性社外取締役Debra A. Hazelton氏を新たに選任

- 昨今、取締役会にジェンダーや国際性などのダイバーシティー（多様性）が求められるなか、2023年6月20日の第15回定時株主総会にて外国人女性社外取締役Debra A. Hazelton氏が新たに選任されました。
- 同氏は、豪州の保険会社（当時）の取締役会議長や日本の金融機関の豪州部門責任者を務める等、日本及び豪州を代表する企業の役員としての人材・組織開発・国際性、財務・会計等の豊富な知識及び経験を有しております。



女性管理職比率24.4%（2023年4月現在）で前年比1.5pt増

- パーソルグループは、女性管理職比率「2030年までに37%」を目標に掲げています。2021年9月に設置したジェンダーダイバーシティ委員会をはじめ、グループ各社でさまざまな施策を推進し、2023年4月時点でグループ内の女性管理職比率は24.4%と、前年と比較し1.5ptの増加となりました。

詳細は[こちら](#)

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

39

続きましてダイバーシティとガバナンスへの我々の経営体制、新しくなりましたので改めてご報告をしたいと思います。

外国人の女性の社外取締役を招聘いたしました。Debra A. Hazelton さんでございます。彼女はオーストラリアの金融大手の会社の取締役会議長をしておられます。保険会社でもそうですし、金融、銀行でもそうしていただきまして、もちろん経営、人事に関するご経験も非常にお持ちですし、日本で就業をされているというご経験もお持ちです。非常に日本に対する造詣も深い方でございますので、我々により多面的な角度でさまざまなアドバイスやご意見を取締役会の中でいただくと確信をしております。

あわせて、我々のダイバーシティの推進として、女性管理職比率を大きなテーマに掲げております。この4月現在で女性管理職比率は24.4%になりました。前年比1.5%の改善でございます。2030年に37%を達成しようということを目指して掲げております。その女性のダイバーシティインクルージョンを進めていくことを私も中心になって進めておりまして、その進捗としましては計画通りの進捗ということで、ご安心いただければと思います。

ガバナンス体制、スキル・マトリックス



氏名・役職・ジェンダー			委員会構成			取締役会が備えるべきスキル（知識・経験・能力）						
			監査等委員	指名・報酬委員会	コーポレートガバナンス委員会	企業経営経営環境	イノベーションテクノロジー	人材開発組織開発	国際性	リスク管理企業法務	財務・会計	サステナビリティ・ESG
水田 正道	取締役会長	男性		○	○	●		●				●
和田 孝雄	代表取締役社長 CEO	男性				●		●				●
玉越 良介	社外取締役	男性		○		●			●		●	
山内 雅喜	社外取締役	男性		○	委員長	●	●	●				
吉澤 和弘	社外取締役	男性		委員長	○	●	●	●				
Debra A. Hazelton	社外取締役	女性			○			●	●		●	
林 大介	取締役 (監査等委員)	男性	○		○				●	●		●
櫻本 知佐	社外取締役 (監査等委員)	女性	○						●	●		●
友田 和彦	社外取締役 (監査等委員)	男性	委員長		○	●			●	●		
女性取締役比率		22% (2/9)										

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

40

そして、ガバナンス体制、スキルマトリックスは Debra さんを招聘しましてこんな形になります。Debra さんにはコーポレートガバナンス委員会に入っていただくという形になっております。それから、先程申し上げました通り、人事の知見ですとか、国際性や財務、金融に関する知見が非常に強うございますので、こういったところで我々の取締役会の構成となっております。

統合報告書2023の発行



統合報告書2023全文は[こちら](#)（英語版は2023年8月末発行予定）
[統合報告書アンケート](#)にもご協力をお願いします。

2023年7月31日に

パーソルグループ統合報告書2023を発行

- 「はたらいて、笑おう。」をグループビジョンに掲げるパーソルグループの2030年に向けた価値創造ストーリーを訴求
- 2023年5月に発表したマテリアリティおよびパーソルグループ中期経営計画2026について詳述
- ESG情報や財務・非財務データを拡充

Copyright © PERSOL HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

41

そして、最後になりますが、2023年の統合報告書を、7月31日に発行いたしました。昨年に加えましてより細かい、より詳しい情報をご提示できるように取り組んでおりますし、今中計スタートしている年でございますが、我々の2030年に向けた価値創造ストーリーも記載をさせていただいておりますので、ぜひ内容をご一読いただければと思っております。ESGの関連情報や財務、非財務データも拡充させておりますので、皆様のご期待に応えられるのではないかと考えております。

今日は私の方からは以上でございます。